（二十日夕刊）
磐城新聞
休刊 大祭日第一第三日曜
定價 壹ヶ月五十錢、壹枚二錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

蚊と蠅を退治せよ

醫學士 遠藤生

そろ〳〵六月も末になると吾々の生活は蚊の爲めに惱まされます藪蚊のうるさい攻擊に吾々の仕事の能率は害されてしまひます、一日中暑苦しい夏は夜分の凉しい頃が一番仕事をするにも氣持のよい時分ですが、それも蚊に襲撃されゝば蚊帳に逃げ込まねばならなくなります。これは敢て人間ばかりではなく家畜や家禽類がこの蚊に隨分苦しめられてゐることは誰でもよく知つてゐることで、蚊に苦しめられてゐる牛に蚊を防いでやつたらよく乳を出したとか、また蚊を防いで、鷄の

産卵

を增加させたと云ふ例もあつて、蚊はこれ等の動物の能率までも害しめてゐるのですこの蚊はにくらしい程小さくどれもこれも似た様なものですがその種類も世界中では一千種にも達し、我が國だけでも七十數種程發見されて居ります。カが吾々に一番いやがられるのは血を吸ふからでありますが、この血を吸ふのは雌だけで、雄は蝶や蜂などと同じく好んで花の密を吸つて廻つてゐるのです、雌が血を吸ふのは卵を大きくする爲めなのです卵を大きくして子孫の爲めを圖らんが爲めに彼等に取つては非常な危險を冒して血を吸つて廻るのです、然たカは血を吸つて廻る以外に、非常に惡い病氣を傳播するので恐れられて居ります。カにより

傳播

される病氣は普通マラリヤ、黄熱病、フイラリア、デング熱の四種であります、マラリヤを傳播するのはアノーフエレスと云ふカで翅に班があるので日本名をハマダラカと呼んでゐます、このカは物にとまる時に身體がその物に……度位の角度を持ち點

ますからすぐ普通のカと區別することが出來ます、熱帶地方には非常に多いのですが、日本では臺灣に多少あります、内地にも少しはありますがその傳播するマラリヤは極輕度のものであります、黄熱はこれを傳播するのは鮫カの一種で日本名を琉球縞カと云ひますこの病氣は恐ろしい病氣で非常に死亡率の高いものですが、未だ日本にはないやうです、フイラリア病は人體の淋巴系統に障害を起し、しまひには乳糜尿と云ふ白い牛乳の様な尿と云ふ白い牛乳の尿を排出して非常に

苦しむもので南洋の島々に多い病氣で、我國では琉球、薩摩、天草等の地方には相當あります、これを傳播するカは普通の夜出るカでアカマダラカと云ふので東京付近でも多少あります次にデング熱は、比較的輕い熱病ですが時によると一時に多勢の人を冒すことがあり、船員の全部が冒されて汽船が動かせなくなつてしまつたなどと云ふ例があります、臺灣や琉球では時に襲はれることがあります、これを傳播するのはその地方に夜出る普通のカであります。

明日の暦

新暦六月二十一日
舊暦五月十五日

吉凶

▲一白 思ふ事は指に餘りて選擇に迷ひ決せぬは▲二黒 目上の恵み蒲く人を頼りにせず自ら勵むべし▲三碧 事業は着々と進めども和合に欠くる所あり▲四綠 明かるい様でも何となく晴々せぬ日進退注意▲五黄 運氣盛大なるやうでも目上と疎隔あり注意▲六白 入りても出ても滿足を得らるゝ日失せ物注意▲七赤 伏く働ける日全家……揃ひす進むべし▲八白

小説 死を超ゆる者 (16)

三上於菟吉作　布施平八郎畫

效なき奔命（一）

昨夜遲く歸つてから、殆んど曉方まで一睡もせず思ひ明かしてしまつた勇、いつとなしに重苦しい夢路に入つて翌朝目を覺したのはもう九時過ぎであつた。窓を開けると外面は一面近年稀な大雪で彼の起き臥してゐる離れ家はまるで深山のひとつ家のやうに積雪に圍まれてゐた

もう降り止んではゐたが植込の木々に積つた雪の大塊は動搖のたびに細かに冷たい小片を四邊に散らしてゐた

その庭の面を眺めながら今日の行動の豫定をどう立てたものかとぼんやりした頭で思ひ煩つてゐる時であつた。

本家と連絡を保つてゐる渡り廊下を踏む小刻な足音がして小間使がはいつて來た

「……、お眼醒めでございますか？大變な早いお客さまがいらつしつしやいましたので……」

「お客さま？、誰だね」

「高山さまと村越さま――どちらへお通し申して置きませう？」

「書齋へ通してくれ給へ」

寢室の次が勇の書齋になつてゐたのである

洗面場の方へ行かうとした勇は廊下のはづれで今小間使に導かれて來る二人の友達に出逢つてしまつた

「やあ！」

「やあ！」

「大さう早くやつて來たものだな！」

「うん今日は特別だ」と高山が言つた

「待つてゐ給へ面を洗つて來る」

洗面を濟まして書齋へはひると友達は大火鉢にしがみついて熱い茶をふう〳〵吹きながら啜つてゐた

「一体どうしてこんな日に揃つたんだい？」

つと勇は座を占めながら言つた

「此の休暇は此方で暮さうと思つたら親父が少し加減が惡いと言つて來て歸らにやならないので、お別れに來たわけだ」

高山は制服のかくしからウイスキーの平瓶を取り出して茶を飲んでしまつたあとの茶碗に注いだ

「俺にも呉れ」

鳥の巣のやうな頭をした村越といふ青年がふところ手のまゝで言つた

「いやだ」

「ウイスキーなら家にもある筈だ」と勇は手を鳴らさうとす

「止せよ」と高山が言つた

「此の男に一杯飲せれば百杯飲まさなけりやあならない事になる」

けれどもさう言つてゐるはたから村越はふところから片手を出して、今友達が注いだウヰスキーをゴクリと一口に飲んでしまつた

「これが此奴のやり口だ」と高山は苦笑した

「もういけないぜ……時に今言ふとほり俺は今夜の十時で立つが留別を兼ねて一つみんなと一緒に雪見に一杯どうだ、誘ひに來たわけなんだが……」

「ところが今日は少しいそがしいんだ」と勇は言つた

「いそがしい――君が！」

高山が言つた

「僕だつてたまにやいそがしいさ」と勇は無理にほゝ笑んだ

「理由に依れば勘忍するが」

「實は君達が來てくれたのは丁度いゝんだよ」と勇は少し考へてから言つた

「少しネ、金策をしなければならないことがあつて……」

◎夏衣陳列
粋な中形
着尺モスリン
名仙 單帶
其の他色々
どうぞ御來店を
三丁目 龜田屋 電話

廣告
赤心堂病院
平町田町 電話四七五番

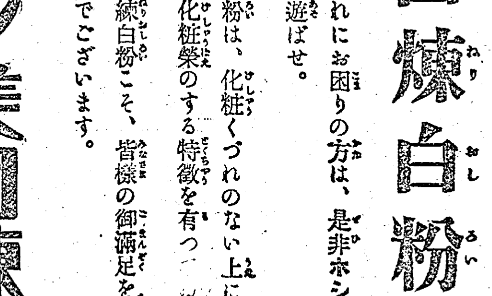
割烹 末廣 電話四二一

氷水開業廣告
弊店事蒲鉾製造販賣を開業以來各位の特別なる御引立を蒙り候段厚く御禮申上候夏期中は蒲鉾製造を休み氷水販賣に從事する事と相成申候につき何卒御用命御引立の程願上候
平町一丁目 藤 寅 電話百四十一番
動力應用
アイスクリーム、ミルクセーキ
ミツマメ、ソーダスイ
其他清涼飲料物（出前迅速）

蒲燒賣出し
一うなどん 六十錢均一
一蒲燒 一圓より
仕出しは配達迅速
多數御注文のお方には特に御相談に應じます
平町新田町 壽々喜亭 電話五八番

高久病院
平町田町 電話五一三番

心配ゴ無用！
ドンナに惡性頑固な慢性淋病も本劑の强烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治療す
今すぐ御服用を……
淋病最新藥 トリックス
一圓・二圓 [illegible]
特約店 平町五丁目角 山野邊藥局

化粧くづれのない
固煉白粉
一 汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固煉白粉をおつけ遊ばせ。
二 ホシ美固煉白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を有つて居ります。
三 このホシ美固煉白粉こそ、皆樣の御滿足を購ふことの出來る品でございます。
ホシ美固煉白粉

東京 星製藥株式會社

生徒大募集
七月一日新學期開始！！
甲種運轉手たらんとするものは本校に來れ 茲に七月一日の大募集を開始せり。
來りて本校獨特の教授法と練習の猛烈なる事實を御覧せられんことを希望す。而して其眞劍なる努力を眞相に直面せば必ずや首肯せらるゝ所あらん。學資の低廉亦全國無比、七月一日の一大好機を逸する勿れ。
（毎月一日入學許可）
◆本科（三ヶ月卒業）一ヶ月分 金二十五圓也 學科習實費共
◆速成科（二ヶ月卒業）一ヶ月分 金三十圓也 學科實習費共
◆受検科（一ヶ月卒業）一ヶ月分 金三十五圓也 學科實習費共
各科共 フォード、新フォード シボレー使用
▲學則及び入學案内申込次第進呈す
平町四軒町
公認 磐城自動車學校 電話 六四〇番

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー 平驛前
電話は 三四三番 サシミ

新レコード着荷
コロンビア邦樂レコード
現代劇 受難華 二枚 水谷八重子 花柳章太郎 柳永二郎
映畫小唄 沓掛小唄 一枚 大河內傳次郎
映畫小映 燃へるの唄 一枚 川崎豊 其他
島田晴譽氏指揮 松竹管絃樂團伴奏
追々夏らしい氣分になつて參りまして愈々蓄音器のシーズンが近付きました。此の機會に於きまして弊店では右の如き特別發賣を致す事に致しました。何卒御用命下さる樣
特に蓄音機の修繕は安く良く早く
平三 大谷時計病院 電話一九番

器械新設 体温計無料撿査
皆樣の御手元まで御覧に入れました引札の如く今回最新優秀なる撿定器を設置し無料で撿査いたしますから御遠慮なく御持參を願います
（撿查日）毎月十日
平町二丁目
指定販賣所 西村屋藥舖 電話三番

釀造元 清世界 銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
吉 清水屋 小野晉平 電話六番

平町のみを虐める 過酷な遊興稅
斷然應じ兼ねますと 睦會から陳情書

平町藝妓屋組合と料理屋組合より成る睦會では遊興稅値上げに對する善後策につき屢々協議中の處いよ〳〵縣稅務局に對し稅額引下げ陳情書を提出する事となつた、即ち前記睦會は縣より賦課された稅額に對し便宜全責任を負つて取立て納稅の義務を果して來た處縣稅務局は今年度より遊興稅二割六分の增額をなす事となり縣下各地に賦課したが獨り平町にのみは四割六分八厘と云ふ異例膨大の增額をなして來たので平組合當局は他地方と同一の賦課率は甘んじ受けるが約倍額は不平公も甚だしく應ずる譯げ行かぬから他地並に賦課して貰ねたいと云ふ理由にして飽起目的の貫徹に向つて進むべく組合幹部總出で運動中である

江名の違反
大きくはならぬ

石城郡江名町に於ける過般の町議選擧に違反者あるやの筋に密告され去十七日來平署刑事と平檢事局から三宅檢事出張し十八日までに關係者十餘名を取調べたが、尚ほ引續き被疑者を檢擧する模樣であるがさして大きな事件にはならないと唱へられてゐる

石城郡の酒造家が 資本の合同へ
先づ高久村の鈴木氏が 當局も側面援助

石城郡高久村酒造家銘酒小錦本店鈴木喜太郎氏は最近における財界の影響並に郡內酒造業發達のため從來の個人經營を會社組織にすることになり目下準備を進めて居るが酒造家にして會社組織とする者は同氏が郡內最初で他の酒造業者間に於ても財界不況の對策として會社組織を希望する者が相當現れて來たが從來群雄割據的慣習を脫し得ず未だ資本の合同的會社組織を計畫をなすものはない右に就き平稅務署では語る

會社組織の傾向となつたことは兎に角石城酒造界の一進歩である、稅務署としては酒造界の發展のためにも資本合同の會社組織を提唱し機會ある每に酒造業者に宣傳をして來たが種々な關係から皆現されないで居る然し個人經營から會社組織に更めんとしてゐることはやがて資本の合同ともなる前提とも見られるから稅務署としてはこの際大いに資本合同の會社組織を宣傳し機會の速かに到達する樣努力する方針である」云々

愈々旬日に迫つた 植田の町議選
今明日中に候補者出揃ひ 政友の意氣健昂

石城郡植田町會議員選擧は餘す所僅一旬の後に迫つた今日未だ候補者の顏觸れ揃はず赤津島治(民)大平菊藏(政)の兩氏立候補届けを爲したのみにていたづらに策士の橫行に任せ居る狀態であり運動費の關係もあり出揃ふのは二十二三日頃と豫想される、而して最初定員十八名に對し政民各十名宛の候補者を擁立して花々しき爭覇戰を演ずる事と豫期されてゐたが、民派に於ては全く候補難に陷り十名は愚定員の半數九名さへ至難の模樣であつて八名位かとあやぶまれてゐる狀態なるに引きかへ政友派に於ては今回の雪辱戰であり意氣衝天の慨を示し民派とは反對に皮肉にも候補者多くてまる有樣である、立候補確定せる者ならびに近く立候補すべく豫想される者左の如し

大字植田に於ては渡邊榮一(政)香取吉藏(政)の兩氏確立し古川傳一(政)小宮山哲吉(政)鷲清昇(民)小三福太郎(民)北郷繁七(民)の五氏當然出候補するとと見てこの外政友より大字千秋、馬上守一、鈴木林平三氏中より一名外而して大字小濱に於ては目下出願中の大謀網に就て政友古川縣議の斡旋盡力の勞に對して民派の有志は立候補を遠慮してゐる樣子であり勢々全町を通じ政友十一名民政九名の立候補となるらしい形勢を示してゐる

夏の平町に 軒並の氷屋
飲料水の生產

平町地方は梅雨季と云つても毎日の晴天つゞきできのふ今日あたりは眞夏の如く街頭のアイスクリーム屋の呼聲も殊更耳に立つた氷水屋の許可願も每日の如く平署に現れ梅雨でも明けりや軒並に始るであらうこれに伴ひサイダー、ラムネ等の清凉飲料もいよ〳〵書き入れ時に這入つてきた今年三月から五月まで平町二軒小名濱一軒の當業者から生產された數はラムネ百十石九斗六升九合、サイダー百五十三石二斗九合に達してゐるがその稅金だけでも二千三百七圓三十八錢の巨額に上りお役人にも目を白黑してゐるが益々炎熱と共に生產高を激增すると

人工受胎失敗
第二回の準備中

石城郡產馬畜產組合では馬の人工受胎につき過般平町堤內大塚武夫所有の牝馬霧島に對し田村郡船引から種馬精液を魔法瓶にて持參受胎試驗をした結果二週間までの經過は非常に良好であつた爲組合でも喜んで居たが三週間目に徵候がなくなつたゝめ組合では張合拔けの氣味であるが近く第二回の試驗をなして成功せしめんと目下準備中である

來月中旬小名濱に 軍艦五十鈴入港
海軍の簡閱點呼で 便乘も許可する

石城郡小名濱港に來る七月十五日午後六時本年度橫須賀鎭守府の艦隊簡閱點呼のため軍艦五十鈴が入港する事となつたが平町役場では海軍々事思想普及の目的を以つて左記の要項に依り同艦に便乘方許可する筈にあるから二十二日まで希望者は申出られたしと、因に港は同二十二日午前七時同日午後五時女川港に入港の筈である

一、年令は十五歲以上の者たること
二、收容人員に限りあるを以て超過の時は御斷りする事あるべし
三、服裝は艦內行動上便なる樣、靴または草履を用ゆる事
四、辨當は各自携帶のこと（酒類の携帶を禁ず）
五、艦內に於ける行動は係員の指示に從ふ事
六、便乘者は出港時前三十分前迄に乘艦を終ること

小濱大敷網
水產技師の調査

石城郡植田町小濱漁業組合で願になる大敷網は未だ許可されぬ爲め漁期も控へ係氏は失業狀態となりつゝある事は既報の如くであるが去る十七日縣より五十嵐水產技手出張一日間に亘り小濱及び附近海岸を踏査した

平驛の新面目
全美を盡した內部の設備 竣工は今月末に

平驛改築は平町丸山組請負により今月末までに竣工する筈で落成後の新ステーションは平町の美觀の一つとなつたが諸機具の設備は新を撰み玄關扉は鐵製品で四枚に折れて開閉出來る外電燈椅子は殊に美麗なもので二階會議室は新式椅子三十個を新設し從來の諸會議、試驗執行は白銀町鐵道倶樂部に於てなしてゐたが改築後は新設會議室にて出來るから非常な便宜で待合室は從前のに比し約く二倍の大きさで室內に洗面所鏡臺、飲料水柱を設備しすつかり生れ變つた形で落成祝賀會は協議中である

市場休場
相場は好調 出廻り旺盛で

石城郡地方の生繭の出廻は益々最盛となり各繭買入所は忙殺されてゐるが相場も好値で四倉繭市場に於ける十三日開場より一週間の總貫數は一萬一千九百七貫三百三十匁に達し十九日は出廻二千四百十八貫內白繭二千二百十五貫黃繭二百三貫で最高値は白八圓三十八錢黃七圓六十錢、最低値白六圓黃七圓五十四錢で平均値は白七圓七十六錢、黃七圓五十四錢であつたが同市場では出繭の激增のため乾燥が間に合ず明二十一日は休場する筈であると

蓮沼氏上京

本社副社長蓮沼龍輔氏は二十日午後一時平發にて上京兩三日滯京歸平の豫定

石城郡下の春繭は 約三割減の豫想
三眠時の違蠶と桑不足 同業組合の觀測

石城郡內の春蠶上簇は比較的良好であつたが收繭成績は非常に惡く殊に赤井、小川村の山間方部にその傾向著し收繭後における春蠶家は青息吐合であるが右に就き石城春蠶同業組合では郡內各部に亘り收繭狀況を調査を行つた結果例年に比し約三割の大減收である卽ち郡內における例年の春蠶收繭高は約九萬四千貫であるが今年は二萬八千餘貫の減收で現在の取引相場から見れば約二十萬圓の激減となつてゐる、この減收の原因は種々あるが主なるものは三眠前後にたける違蠶、投蠶及去月二十三日の大洪水のため受けた桑園の被害並に桑葉育成の大切な時間に天候不順となつた結果肥料の分解作用不充分のため桑樹の伸び不良にて桑不足となつたこと等もあるが春繭に於て二十萬圓の大減收は大正九年以來の出來事であるため春蠶同業組合では心痛して目下對策を講じてゐる

玉川村議選
定員六名超過

石城郡玉川村議選擧は廿九日午前七時から執行されるが農繁期のことゝて立候補を屆出たものは佐藤盛司、高萩儀平の兩氏のみであるが二三日中には十八名は出場する模樣で六名の超過となり相當激戰を豫想されてる

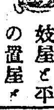
好間村議戰 白熱化
定員三名超過

好間村會選擧は來る二十七日執行する事となり政民兩派に無產派より一名を加へた立候補者十八名に達し三名の超過を見てゐるので可成り激烈な競爭を演じるものと豫想されてゐるが立候補者氏名左の如し

强口唯七郎　高木源治
大河原茂平　吉田富叶
名清　吉田丑次郎　鈴木
久吉　鈴木廣治　鈴木精
平　猪狩貞一　神谷衆次
郎　高木米吉　木田安次
郎　大平新吉　志賀長蔵
金成角治　森長太郎　根
本丑之助　稻葉廣吉　佐
藤千代松　（無）荷水與澄

石城共濟委員

石城郡方部共濟委員會協議會は二十一日午前十時より元郡會議室に於て開催し諸般の事項につき打合せをなした



植田の藝妓屋と平の置屋は根本から違つてる、植田の藝妓屋は自前の藝者が年老いて廢業したのか自分が子飼から育てた藝者を相手にして商賣をやつてるのだソコに麗しい情緒が育くまれて、親子の情愛が力強く其間を結びつけてゐるそれが平はジプシーのような漂泊の藝者を年期や稼ぎ分けで一時的に抱へるのとは其氣分が違はなければならない。向ふは親子の關係で此方は抱主と抱へ子の關係だ一は情的で一は經濟的なのだ。それが座敷の勤め方お客に對しての待遇に現れないことが出來るだらうか、植田の藝者がた客に接するに情があり平の藝者は金で時間だけ買はれたといふ氣分の違ひも無理ではないかも知れぬ

植田終町會
けふ小學校內で

石城郡植田町會は來る二十日午前九時より同小學校內に開催し渡邊村との境界にある大澤溜池の改修につき協議をなすが工事費金一千六百十八圓を計上した、本町同議員選擧は二十九日執行されるに付きこれが現議員により最終町會である

水の使用制限
當局から夫れ〴〵示達 平町民の夏御難

いよ〳〵眞夏に近づいて來たので平町における水道使用量が俄に激增し日中の如きは各家庭、洗濯その他のため貯水池に水不足を告げるので町當局では水道課と協議の上萬一に備へるため水の節約をはかることになり去る十八日水道使用の各家庭に對し水節約の注意書を配布したが一般使用者は平常は八釜しい規則攻めに會夏になつたから使用量を節約しろとは町當局も餘り蟲が良すぎるやり方であると非難するものもある

新舞子に遊ぶ（上）
城山隱士

○昭和四年六月一日金曜日曇天午後一時同遊の志十有五人相携へて新舞子の浦に遊ぶ、昨日までは敵味方劍戟相交へて勝敗を爭へしと思ふは古の戰爭の事今日は町村會議員と云ふ名譽の月桂冠を戴かんがために殊に我が平町は一昨五月三十日が選擧の當日なれば推さるゝ候補者も推す選擧民も共々に血眼になつて選擧運動に競爭せしに一夜明くれば新玉の年改まる如くにて敵も味方も打ち離りて同船し恰も呉越同舟なる如き趣あるは頗る時代にふさはしい催しなると謂はねばならぬ

○同日正午十二時主催者は自動車二臺を準備して驛頭に贊成者の參會するを待つ主催者贊成者共々に平町に於ては所謂智識階級たる名譽嘖々たる人々今は暫く其名を現はさぬが皆々時を移さず同時刻に平驛頭に來會し二臺の自動車に分乘して砂煙を蹴つて四つ倉街道を一目散に新舞子へ馳せ參じた此の朝か雨模樣にて頗る憂ひ怖々たる有樣であつたが時移つるに從つて濛雲薄らぎ來り風さへ時々と加はり吹いて誠に肌膚に快き絕好の良機會日とはなつたそこで主催側も將贊成者も此好天氣を見て一層勇氣百倍し今や自動車の走るのももどかしがりて早や舟遊の話など同興もなく語り合ふも奥床しさの極である

○何者の詠せし鴨綠江節かは知らねども

仁井田浦春は小舟に
竿さして夏は松原夕涼
み　秋は堂山森の月
冬は三叉の雪景色

と四季折り〳〵に眺め絕わせぬ仁井田浦は古より名勝遠近に聞ゑたる處にして古歌にも

駒な住むいはきの山を
越わかねて人を古の差
の濱にかふねん

などの和歌さへあり又西行法師の歌に

陸奥の古の美の浦に
一夜ねて明日や拜
まん波立の寺

などもありて鎌倉時代よりは稍や著しく現はれたる處とおほゆる

○大正二年六月に決定した大阪每日新聞社並に東京日々新聞社の日本新八景及日本新百景の發表は日本全國津々浦々隅々に至るまで夫れ〳〵候補地投票大努力を盡しましたが愈々審査委員會選定の結果は外つ日本新八景には

海岸　高知縣室戶岬
溫泉　岩手縣花卷溫泉
瀑布　茨城縣袋田瀧
山岳　長崎縣溫泉嶽
湖沼　山梨縣富士五湖
溪谷　長野縣天龍峽
河川　岐阜縣長良川
平原　大分縣日田盆地

等の選定になりましたが日本新百景海岸の一として我が石城郡新舞子の勝景も其選に加はつたのは頗る愉快入として愉快に堪へず所である但し新舞子選定に當選葉書にて三七七五七五枚投票ありましたのは頗る石城地方人の努力多かりしは雖も其當選順位海岸にて三十番にて然も其第一番に當選したる室戶岬の二六一八八九二票、多數には驚かざるを得ないのである惟ふに他鄉人の其地方風景明媚の地を紹介發表するに最大の努力最善の智囊を勞せしは感服するの外は無いのである

移轉開業

古鍛冶町在住當時は一方ならぬ御愍情を賜り殊に類燒の際は特別の御高配を戴き候段奉深謝候
今回左に移轉開業致し候間將來さも相變らず御引立のほど懇願仕り候

六月二十日

平町田町元甲子裏
青山易斷所
青山而象

壯快無比若者の意氣純情溢る！微笑爆笑抱腹悶死
◇パラマウンド百萬弗超特作大映畫監督ジヨングレイ氏◇
野球大喜劇　ロイドのスピーデー　全十卷
◇久し振にハロルド・ロイドが猛烈な野球狂となり例の愉快な笑ひを乘せて行くホームラン王ベーブルース特別出演

三大名玉篇逐公開
◇阪妻プロ草間派大作映畫　草間實　泉春子主演
天保俠客錄　全
助演　[illegible]琴之助　月形龍之介　[illegible]太郎　伊東淳兆
二十日替り高級映畫常設　土曜學生デー
平館
◇河部五郎・退助ノ際ノ代役として大日活に新入社せる清川壯司が最も自信をもつ完成せる全篇
逆轉　全
伏見直江　尾上桃華　市川小文治　粂譲
料金普通

新築落成
耳、鼻、咽喉科　氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

外科　婦人科　內科　X光線科
外科一般　耳鼻科　花柳科　產科　人外科
赤心堂病院
平町田町（電四七五）

（切取線）

名題　一　尾上菊三郎　一　音羽多見丸　大一座
讀者觀劇券（此券持參の方は金十錢）
六月十八日より　聚樂館で
磐城新聞社發行